

ひょうご経済

ウイルスや菌の除去、消臭効果があるという「二酸化塩素を研究する「CLO₂Lab (シーエルオーツーラボ)」(西宮市)が空間除菌剤を製造販売し、注目を集めている。大幸薬品の人気製品を開発して退社後、自ら起業した社長が、即効性と快適性、持続性を高めて使いやすくした。

(塩津あかね)

空間除菌剤売上高5倍

西宮の企業開発「オキサイダー」

製品名は「OXIDER」。最適な濃度で安定的に拡散（オキサイダー）。二酸化塩素は揮発しやすいが、使用時の強いにおいを抑

空間除菌剤を開発したCLO₂Labの安部幸治社長(右)と販売支援を行うWIN-TECの濱本洋一社長
〔西宮市松生町〕



即効・快適・持続性を追求



CLO₂Labが開発した「OXIDER(オキサイダー)」
(同社提供)

別会社を設立して1996年、二酸化塩素の空間除菌剤を製品化した。会社は2006年に大幸薬品に吸収合併され、同社専務に就いてクレベリンをヒット商品に育て上げ、09年に退社した。

その後も、二酸化塩素の製品の研究を続けて、ガスの発生速度や濃度を制御する技術で新たに特許を取得し、18年に自社製品化にこぎ着けた。新型コロナウィルス禍を受け、オキサイダ

ー、3ヵ月程度の除菌効果をもたらす。CLO₂Labの安部幸治社長(66)はかつて、大幸薬品のウイルス除去製品「クレベリン」を開発した経歴を持つ。神戸商船大(現神戸大)で船のエンジンについて学んだ後、父が経営する印刷会社で働き始めた。そこである日、営業マンが持ち帰った二酸化塩素と出会い、「誰でも簡単に使えるようになりたい」と研究にのめり込んだ。

別会社を設立して1996年、二酸化塩素の空間除菌剤を製品化した。会社は2006年に大幸薬品に吸収合併され、同社専務に就いてクレベリンをヒット商品に育て上げ、09年に退社した。

その後も、二酸化塩素の製品の研究を続けて、ガスの発生速度や濃度を制御する技術で新たに特許を取得し、18年に自社製品化にこぎ着けた。新型コロナウィルス禍を受け、オキサイダ

ー、3ヵ月程度の除菌効果をもたらす。CLO₂Labの安部幸治社長(66)はかつて、大幸薬品のウイルス除去製品「クレベリン」を開発した経歴を持つ。神戸商船大(現神戸大)で船のエンジンについて学んだ後、父が経営する印刷会社で働き始めた。そこである日、営業マンが持ち帰った二酸化塩素と出会い、「誰でも簡単に使えるようになりたい」と研究にのめり込んだ。

別会社を設立して1996年、二酸化塩素の空間除菌剤を製品化した。会社は2006年に大幸薬品に吸収合併され、同社専務に就いてクレベリンをヒット商品に育て上げ、09年に退社した。

その後も、二酸化塩素の製品の研究を続けて、ガスの発生速度や濃度を制御する技術で新たに特許を取得し、18年に自社製品化にこぎ着けた。新型コロナウィルス禍を受け、オキサイダ

■経済部

TEL : 078-340-1004
FAX : 078-340-1004
e-mail : keizai@kobe-np.co.jp

え、3ヵ月程度の除菌効果をもたらす。前期比5倍に膨らんだという。

兵庫県内では、神姫バス(姫路市)が昨年10月から高速バスや路線バスに設置を始め、現在約280台に導入している。

兵庫県内では、神姫バス(姫路市)が昨年10月から高速バスや路線バスに設置を始め、現在約280台に導入している。

兵庫県内では、神姫バス(姫路市)が昨年10月から高速バスや路線バスに設置を始め、現在約280台に導入している。

経歴を持つ。

神戸商船大(現神戸大)で船のエンジンについて学んだ後、父が経営する印刷会社で働き始めた。そこである日、営業マンが持ち帰った二酸化塩素と出会い、「誰でも簡単に使えるようになりたい」と研究にのめり込んだ。

別会社を設立して1996年、二酸化塩素の空間除菌剤を製品化した。会社は2006年に大幸薬品に吸収合併され、同社専務に就いてクレベリンをヒット商品に育て上げ、09年に退社した。

その後も、二酸化塩素の製品の研究を続けて、ガスの発生速度や濃度を制御する技術で新たに特許を取得し、18年に自社製品化にこぎ着けた。新型コロナウィルス禍を受け、オキサイダ

ー、3ヵ月程度の除菌効果をもたらす。CLO₂Labの安部幸治社長(66)はかつて、大幸薬品のウイルス除去製品「クレベリン」を開発した経歴を持つ。神戸商船大(現神戸大)で船のエンジンについて学んだ後、父が経営する印刷会社で働き始めた。そこである日、営業マンが持ち帰った二酸化塩素と出会い、「誰でも簡単に使えるようになりたい」と研究にのめり込んだ。

別会社を設立して1996年、二酸化塩素の空間除菌剤を製品化した。会社は2006年に大幸薬品に吸収合併され、同社専務に就いてクレベリンをヒット商品に育て上げ、09年に退社した。

その後も、二酸化塩素の製品の研究を続けて、ガスの発生速度や濃度を制御する技術で新たに特許を取得し、18年に自社製品化にこぎ着けた。新型コロナウィルス禍を受け、オキサイダ